

Topics

鳥取・こうほうえんが東京・東十条駅近くに「駅型保育園」開設

○…JR東日本（清野智社長・本社東京）には「子育て支援事業本部」という部門があり、1996年から「駅までの道のりに保育園をつくろう」と地域貢献グループが駅から5分以内に「駅型保育園」づくりを展開してきた。15年経って首都圏や東北、新潟などのJR沿線に54カ所の子育て支援施設を開設している。保育園だけでなく、放課後の小学生向けに「駅型学童ルーム」や“親子コミュニティカフェ”なども展開する。山手線、埼京線、中央線、常磐線、京浜東北線、総武線などに集中している。朝7時から夜は10時まで、長時間の延長保育もある。働くお母さんたちは大助かり。「これからももっともっと増やしたい」とJRは積極的だ。

○…この4月1日には鳥取県に本拠を置く社会福祉法人こうほうえん（廣江研理事長）が、北区浮間と品川区西大井に続いて北区東十条に3つ目の保育園を開設した。JR京浜東北線東十条駅南口から徒歩3分の大規模「駅型保育園」（90人）だ。園長は北区の職員だったベテラン土井幸子さん。こうほうえんがJRの公募で選ばれ、430㎡（130坪）の敷地に5階建ての園舎（860㎡）を建設した。敷地は賃借で、年間400万円を支払う。0歳児から5歳児まで90人の定員はすでにいっぱいになった。こうほうえんはJRに前例のない「児童デイサービス」（障害者自立支援法による）の併設（10人）

を提案、認められた。「子どもたちが小さなときから障害をもつ子たちと一緒に過ごすことは子どもの生涯に意味あること」（廣江理事長）。



キッズタウン東十条保育園

北区と品川区の2つの高齢者複合施設は保育園を併設、「幼老一体化」の理想を実現、さらに障害者支援にも力が入られている。東十条では児童デイサービスに加えて病後児保育室（4人）も設けられた。「幼老一体化と障害者支援。これこそ社会福祉法人の本来の役割」とあまり気張った様子もない。こうほうえんは介護施設だけでなくリハビリ病院、障害者支援施設、保育園と守備範囲が幅広くなるばかり。かつて「東京では始発から終電までの保育を実現したい」と願ってきたが、それに近いものが実現できてきた。ライフワークとして「地域ぐるみの生活の再構築、『新たな向こう三軒両隣』の再生」を目指す。これからの東京での事業展開はこの方向で進められていこう。医療・福祉経営者のこれからの在り方を先取りしている。